

平成30年9月30日執行

宇多津町議会議員補欠選挙 候補者選挙公報

宇多津町選挙管理委員会

宇多津町議会議員補欠選挙

9月30日(日)
投票日

みんなで投票
大切な一票





おかだ茂久

私は、宇多津町職員として三十五年、主に町の整備に関する仕事に携わってきました。

新都市の開発・ため池再編整備（道池・奥池・ひる田池）など、最後の奉公として役場の耐震改修事業を担当しました。どれも思い出深い事業でした。

こうした事業の中で、多くの住民の方と接する機会に恵まれ、そうした出会いが今の私を育てたといっても過言ではありません。

また、その中で実感したところは、行政による町の整備だけでは、「まち」を活性化することはできない。ということでした。そこに住んでいる人たちが元気になることこそ、「まち」が活性化するための根源であり、未来へ向かって持続する手段だと思ふようになりました。

そこで、これからは、真の住民のための「まちづくり」とは何か、を住民の皆様と一緒に考え、行政に働きかけを行っていききたいと思ひ、この度町議補欠選挙に立候補しました。

防災体制と人材育成の充実したモデルタウンとしての宇多津町へ

ごく近い将来、南海トラフ巨大地震が発生した場合に香川県でも最大震度7の揺れが予測されております。現状として、そうした巨大地震がいつ発生してもおかしくない状況と言えます。まず、住宅の耐震化のため補助金を利用した耐震診断や耐震改修の普及、自宅の家具・家電等の転倒防止対策、飛散防止フィルムの施工、建物・家具・内装等の耐火・防災化対策、火災警報器・消火器・感震ブレーカ等の普及、防災ラジオの普及、ブロック塀の点検・補修工事、災害時の避難行動の検討や避難経路と避難場所等の確認、地区・職場・学校等での防災・避難訓練の定期的な実施、自宅・職場・学校・地区等で防災用品や非常食等の備蓄や避難所等の整備を検討し実施する必要があります。また、河川からの遡上津波を防止する対策等を検討し実施する必要があります。

宇多津町や香川県さらには日本の明るい未来を築くために、子供たち各々が自分に合った将来の明確な目標を持てるような教育支援の体制を充実させることで社会に有用な人材を育成することを検討し実施する必要があります。

[馬場計二 プロフィール]

- 昭和33年2月 宇多津町生まれ 60歳
- 昭和51年4月 香川大学教育学部文部事務官 昭和55年4月 香川医科大学医学部文部事務官
- 平成元年4月 宇多津町水道事業量水器点検事務受託者
- 平成15年3月 香川大学法学部卒業
- 平成30年4月 香川県広域水道企業団水道メーター検針事務受託者

国立大学教育機関での公務と宇多津町水道事業での公務を水道事業量水器点検事務受託者として20年以上も責任をもって果たしてきました。東日本大震災以降に私設研究所を開設して防災研究にも取り組んでおり、防災関連設備の特許・実用新案の出願及び取得等の研究成果も得てきました。



馬場 けいじ